

6月県議会（6/25～7/10）が開会中です。

山口のりひさ県議が6月30日、初質問に立ちました。

一般質問と答弁の要旨を紹介します。



国民健康保険の広域化

「市町村の独自策は可能」と答弁

山口 国保の広域化により、保険料平準化の推進などで保険料引き上げが懸念されている。保険料算定にあたっては負担増をおさえる対策をとるべきではないか。

健康福祉部長 市町村ごとに医療費水準・所得水準等を考慮するため、一律に引き上げるものではない。制度の詳細は今後国と地方で協議するので、保険料の算定について実情に対応するものとなるよう、国に求めている。

山口 加入者の負担軽減のため、一般会計からの繰入で保険料引き上げを抑えるなど、市町村独自の工夫と努力がなされてきた。こうした取り組みは守られていくべき。

健康福祉部長 やむを得ず保険料水準の急激な上昇を緩和するための独自策は、引き続き可能。

生活困窮者支援 民間・現場とのネットワークづくり連携を

山口 生活困窮者自立支援事業では、反貧困ネットなど民間も、無料相談会や居場所づくりなどががんばっている。また、生活困窮の原因は多様化・複雑化し専門的な支援が必要、現場でも試行錯誤や混乱がある。こうした課題の解決のため、行政やまいさぼ（生活就労支援センター）、民間などが定期的に顔を合わせ、情報交換や連携を図る現場のネットワークをつくるべきではないか。

健康福祉部長 生活就労支援センターを中心としたネットワーク会議を広域単位で開催するなど、関係機関・団体の連携協力をさらに促進する。

リニア新幹線つぎつぎと問題浮上 騒音苦情、突然の変電所設置計画

山口 大鹿村の工事予定地で新たに16種の絶滅可能性ある希少動植物が確認され、豊丘村ではリニアのための大規模な変電所設置計画が明らかになった。すでにボーリング調査が始まっている大鹿村では騒音苦情も寄せられている。「後出しジャンケン」のように次々と問題が明らかになった。今後予想される個別具体的な問題への対策のために、地元自治体が求めている協定書の締結を県もJRに求めるべき。

阿部知事 JRは、個別具体的な案件に関して文書等で確認を行う用意があるとしており、地元と誠実な対応をしていただくことが必要だと思っている。

建設部長 変電所やその他工事内容が具体化する過程で、丁寧な説明を行い住民の不安払拭に努めるよう求めていく。



質問を終えて…山口

初質問でしたが、たくさんの傍聴のみなさんに励まされました。国保の一般会計からの繰り入れが可能との答弁は、加入者のくらしを守るうえで非常に重要な答弁だったと思います。